

## 品種別の試験栽培、試験醸造計画

○ 琉球泡盛の輸出の拡大に向けて、原料米にこだわった個性豊かなブランド銘柄作りが重要。沖縄県産長粒種等を利用した琉球泡盛生産に向けて、沖縄県における原料米の試験栽培、試験醸造を実施。今後、原料米の栽培適性や泡盛の官能評価を含めた醸造適性を確認。

	収量等 ※収量はすべて 10a 当たり	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
<b>夢十色</b> (農研機構育成)	1 期作 : 450kg 2 期作 : 262kg (2007 年、2009 年、県農研)		・沖縄県農業研究センター石垣支所が試験栽培 ・忠孝酒造が試験醸造		
<b>YTH183</b> (JIRCAS-IRRI 共同育成)	1 期作 : 630kg (2014 年、JIRCAS) 1 期作 : 380kg 2 期作 : 280kg (2018 年、JIRCAS)	・JIRCAS が試験栽培し、高嶺酒造所に 200kg 提供 ・高嶺酒造所が試験醸造	・JIRCAS が試験栽培(1 期作・2 期作) ・高嶺酒造所が試験醸造 ・2017 年産を沖縄国税事務所にて官能評価(6ヶ月)	・JIRCAS が試験栽培(1 期作・2 期作) ・高嶺酒造所が試験醸造 ・2017 年産を沖縄国税事務所にて官能評価(1 年)	・JIRCAS が試験栽培(1 期作・2 期作) ・高嶺酒造所が試験醸造
<b>IR64</b> (IRRI 育成)	1 期作 : 525kg (2014 年、JIRCAS) 2 期作 : 240kg (2018 年、JIRCAS)	・JIRCAS が試験栽培し、高嶺酒造所に 200kg 提供 ・高嶺酒造所が試験醸造	・JIRCAS が試験栽培(2 期作) ・2017 年産を沖縄国税事務所にて官能評価(6ヶ月)	・2017 年産を沖縄国税事務所にて官能評価(1 年)	
<b>BT7</b> (ベトナムの香り米)	2 期作 : 270kg (2018 年、JIRCAS)		・JIRCAS が試験栽培(2 期作) ・高嶺酒造所が試験醸造	・2018 年産を沖縄国税事務所にて官能評価(6ヶ月)	

○ 今後、JIRCAS-高嶺酒造所の共同研究で泡盛醸造試験を計画している品種候補

国際稲研究所(IRRI、フィリピン)育成系統、バングラデシュ稲研究所(BRRI)育成系統、ベトナム品種、インドネシア品種、バスマチ系香り米品種、マレーシア育成品種